神奈川県議会議員 西村くにこ

県政報告

発行：2025年11月

［プロフィール］2011年神奈川県議会（川崎区）に初当選。現在、４期目。総務政策常任委員会副委員長／公明党神奈川県議会議員団団長／社会福祉法人川崎いのちの電話評議員／防災士／骨髄バンクドナー登録説明員／認知症サポーターキャラバンメイト／こころサポーター（メンタルヘルス普及促進）／心のバリアフリー推進員（障害者理解促進）／保護司



ホームページ
http:// 西村くにこ .com/

Facebook
https://www.facebook.com/nishimura.kuniko

▲ホームページ　▲ Facebook

県議会報告

ＬＩＮＥ版「＃７１１９」がスタート！

急な病気や突然のケガ。皆さんは救急車を呼ぶかどうか迷ったことはありませんか？神奈川県では、昨年１１月から、２４時間３６５日、看護師等が相談に応じる救急電話相談「かながわ救急相談センター（＃７１１９）」を運営しています。１年が経過し、新たに本年１１月７日から、これまでのサービスに加え、ＬＩＮＥから救急緊急度の判定や医療機関の検索ができる「かながわ救急パーソナルサポート」をスタートしました。

かながわ
救急パーソナル
サポート

救急車の適時・適切な利用を！

神奈川県内の救急出動件数は５９万４８８３件（２０２３年）。高齢化等の影響で救急車の要請は年々増えています。もちろん、緊急時には躊躇なく１１９番通報をしていただかなくてはなりませんが、一方で、救急搬送された方のうち医師により軽易で入院を要さない「軽症」と判断された方は約半数に及び、真に救命処置が必要な方のもとに救急車がなかなか到着できないなどの問題が発生しています。

必要な人に必要な医療を提供するため、私は救急電話相談＃７１１９の実施を議会で繰り返し提案し、８年越しで実現させることができました。

実施以降、ここ半年の相談件数は毎月３万件を超えています。現在、電話の応答率は約９５％。１～２回の電話でつながりますが、大型連休や年末年始など、医療機関の休業等に伴い、相談の電話が集中すると、繋がりにくくなることが想定されます。



電話でＬＩＮＥでつながる工夫

現在、スマートフォンの普及率は９７％。ＬＩＮＥ利用率も９割を超えています。西村くにこは令和５年１２月の代表質問で、コロナ下で活用した「ＬＩＮＥコロナパーソナルサポート」のノウハウを活用し、ＬＩＮＥでも医療相談ができるような体制を検討することを求めていました。

このたびスタートしたＬＩＮＥ「かながわ救急パーソナルサポート」では、症状を入力していくと、緊急度によって、救急車を呼ぶようにうながされたり、医療機関の受診を勧められます。受診の場合は、推奨する診療科目を教えてくれ、医療機関検索のコーナーにも繋がるようになっています。ただ、ご利用の際、個人情報等の入力がありますので、時間に余裕がある時に、登録されておかれることをお勧めします。県の担当者にも、「これで完成ではなく、県民が使いやすい工夫を」と求めています。

県民の命と健康、そして地域医療を守るため、さらなる検討と挑戦を続けてまいります。